

記者発表資料

「埼玉道の駅フェア」でパネル展を開催



～地域の拠点となる「道の駅」を紹介します～

国土交通省は、「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置付け、先駆的な取組み等を行う道の駅を重点的に支援するなど、地方創生に資する取組みを支援しています。

また、「道の駅」と大学との連携により、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の人材育成や、若者との交流による「道の駅」の新たな価値を創造する取組みを進めています。

大宮国道事務所では、このような「道の駅」の取組みについて、広く一般の方にご理解いただくため、パネル展を開催します。

◇日時：平成29年11月10日（金）10：00～19：00
11月11日（土）10：00～19：00

◇会場：イオンレイクタウン mori 1階

木の広場（道の駅紹介パネル展）

水の広場（道の駅の物産品・農産物の販売）

◇パネル展示物（予定）

- ・道の駅の設置状況や取組み
- ・道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験 他

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
越谷記者クラブ 春日部記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 TEL：048-669-1200（代）
副所長 中島 祥行（なかじま よしゆき）
計画課長 薮島 洋伸（はいしま ひろのぶ）

「埼玉道の駅フェア」会場 案内図

イオンレイクタウン mori (案内図)



1階(拡大図)



展示パネルの一例

道の駅の設置状況



道の駅の取組み

道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験の概要

OTトラックドライバー不足が進行する一方、Eコマースの進捗に伴い、近半宅配取扱個数が急増しています。更に宅配便の約2割が再配達となっており、再配達の削減が重要な課題となっています。

このため、都心部の鉄道駅等で設置が進みつつある再配達用の宅配ロッカーについて、地域の拠点である「道の駅」に設置し、地方部での再配達削減のスキームとしての可能性を検証する社会実験を官民連携で実施しています。

<実験概要>

- 実験期間：平成28年10月24日(月)～平成30年11月末(予定)
- 実験場所：道の駅「庄和」(埼玉県春日部市上柳)
- 実験主体：道の駅を活用した再配達削減社会実験協議会
- 主な検証項目
 - 再配達削減への効果
 - 労働時間削減への効果
 - 再配達削減に有効な道の駅の適正

<受け取り可能な宅配事業者>

- 佐川急便(株)
- 日本郵便(株)
- ヤマト運輸(株)

<受け取り対象>

- 春日部市内を宛先とする荷物

<宅配ロッカーの運用時間等>

- 実験期間中毎日24時間全取可

<道の駅「庄和」>

- 所在地：埼玉県春日部市
- 開館時間：開館4時(当日受付可(16:00))
- 営業時間：9時～18時
- 郵便取扱時間：9時～18時(平日)

<宅配ロッカー利用の流れ>